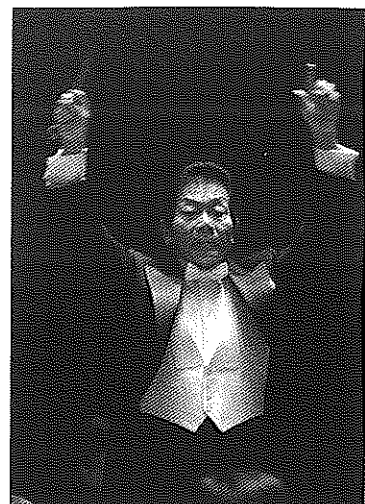


インタビュー

指揮者 三石精一氏に訊く メンデルスゾーンの魅力

～東京ユニバーサル・フィル定期
「メンデルスゾーン特集」に向けて

訊き手＝浅岡弘和



三石精一

を得たという……出だしの所ですね。

——本当は血腥い個所もありますね。そういう所などでメンデルスゾーンはブルックナーに随分影響を与えているような気がします。

三石 それは絶対与えていますね。生きている間はヨーロッパ最高の音楽家として非常に尊敬されていたし人気もあつて。シューマンだってベルリオーズやワーグナーだってメンデルスゾーンほど支持されていたわけじゃないんだから。——第2楽章のクラリネットなんかユニークですね。

三石 あのような作風がメンデルスゾーンの音楽の特徴ですよ。『真夏の夜の夢』序曲やスケルツォに見られる妖精のような軽快さというか。あれに匹敵するのはシューベルトのピアノ曲のデリケートなスケルツォくらいでしょうか。

三石 ええ、あのような独特の精妙な音楽はちよつと他にはありませんね。

——フィナーレも短く書いてるけれど、主題は本当はベートーヴェンの「第9」のように巨大な主題のような気がします。

最近目覚ましい活動を見せているユニフィルが4月定期で序曲「フィンガルの洞窟」、ヴァイオリン協奏曲（独奏・川島成道）、交響曲第3番「スコットランド」というメンデルスゾーンの名曲3曲を採り上げるといふ。音楽監督三石精一氏にお話を伺った。

——今回の定期のプロはオール・メンデルスゾーンということですが。

三石 選曲の理由は「スコットランド」は5曲のシンフォニーの中では一番出来がいいし、最後の交響曲ということですね。元来メンデルスゾーンのオーケストラの名曲はあまり数が多くなくて、交響曲は3、4番。序曲が「フィンガルの洞窟」と「真夏の夜の夢」、そしてヴァイオリン協奏曲と第1番のピアノ協奏曲ぐらいですか。その中でのとなると必然的に決まってしまう。

——この3曲は「スコットランド」のホルンが2本多いだけでほぼ同じ編成ですね。

三石 メンデルスゾーンは品が良くて優美で、文句のつけようがない作曲家ですが、保守的で革新的な所がないから、どうしても強烈な訴えかけに乏しいとも言えますね。

——優等生的なイメージがありますね。

三石 同時代のベルリオーズがあれだけ冒険をしたのに、中庸を得た古典的な姿勢を貫きました。

——シューマンやリストに比べても地味ですからどう料理するかわかりませんか。

三石 彼が生きていた時代は非常に尊敬され評

価が高かった。彼の洗練された音楽の本当の良さを再認識して頂けるような演奏にしたいと思つています。

——今は真価が認められていないようですね。

三石 でも20世紀後半になってからメンデルスゾーンの再認識が始まりブライイトコップから新版も出ましたし、今までは5曲しか交響曲がないと思われていたのに、それ以前に作られた12曲の弦楽のためのシンフォニアも出版されるようになった。まあ、ナチス・ドイツの間、ずっと冷遇されていたわけですからね。最近ようやく持ち直して来ていますが爆発的な人気はというとどうしても。

——ワーグナーが「第一級の風景画家」と評していますが、多分皮肉でしようね。

三石 そうかも知れませんが。ワーグナーはメンデルスゾーンの音楽を、どちらかと言えば評価してはなかったと思われるし、何よりも、作曲家・ピアニスト・指揮者として当時最高の評価と尊敬を受けていたメンデルスゾーンに対するやつかみもあつて、あのような皮肉とも取れる表現をしたのかも知れません（笑）。

——決して褒め言葉ではないですね。

三石 そう思います。風景といえばチラシの裏にはホルリルド城の写真を入れました。メアリー女王の愛人が刺客の手によって惨殺されたという場所です。そこでメンデルスゾーンが何ともいえない哀しい雰囲気を感じてこの曲の着想

三石 退屈してる暇はないですから（笑）。

——今回の演目は全部楽章間がなくアタックで演奏されるんですね。

三石 この2曲とシューマンの4番が早いですがね。当時のコンサートの状況を考えると、楽章間の一貫した音楽の流れを拍手などで中断されるのを嫌ったということから考え出したことかも知れませんね。

——三石さんの他にお好きな作曲家は？

三石 そうですね。ラヴェル、ドビュッシーといったラテン系、それにバルトーク、ストラヴィンスキー、ショスタコーヴィチ……。

——三石さんのショスタコーヴィチ観はどうでしょう。

三石 やはり現代のモーツァルトですね。あれだけスターリンの弾圧下で制限があるのそれをかいくぐって多彩な音楽を書き続けた。信じられない才能ですね。

——何回も殺されそうになって……。

三石 よく生き延びられたものです。よく書き続けられたものだと思います。

——毎日が戦争というか、精神の緊張は凄いですね。ピアノ五重奏は本当にモーツァルト的ですね。

三石 一番好きなのは1番のシンフォニー。本当に天才的ですよ。やはり天才はモーツァルトとメンデルスゾーン、ショスタコーヴィチじゃないですか（笑）。

——ありがとうございます。